

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成30年 3月13日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 寿陽会	特別養護老人ホーム 北総長寿苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベットシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成30年2月23日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 利用者のベットからの転倒・転落未然防止・夜間巡視の業務負担の軽減を目的とし、起き上がり・端座位・離床検知を利用者ごとに設定しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 接触型センサーよりも、準備等の軽減を図ることができる。 接触型センサーでは、未接触部分からの転落がみられていたが、個々に応じたセンサー感知が可能な為、接触型センサーと比べ、感知が速い為、転落の防止につながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 利用者のポジショニングにより、誤検知がある為、創意工夫により誤感知を減少するための、更なる個々の使用方法の統一を図っていきたい。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成29年12月4日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人自洲会	特別養護老人ホーム 志津ユーカーリ苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム (パラマウントベッド株式会社) ベッド本体型式 KA-36221F	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年11月17日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 認知症であって歩行困難であるにもかかわらず、自力歩行しようとする入所者2名のベッドとして居室に設置し、ベッドからの立ち上がり等の情報を本システムで把握することで転倒等の事故防止をすために常時使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 従来使用していた離床センサーではセンサー部分の圧力の有無だけを検知するものであったため、どの方でも同じ状態の検知であった。今回の機器の導入により検知する圧力の調整や検知後報知するまでのタイミングなど様々な設定が可能となっているため、それぞれの入所者の状態に最適な見守りタイミングで訪室できるようになった。介護職員の負担軽減と入所者の安眠を提供できるようになっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 今回の機器ではセンサーの調整できる範囲が最低体重30kgとなっている。今回使用したい方は大丈夫であるが、わずかながら入所者の中には体重30kg以下の方もいらっしゃるのでは場合によっては使用できない可能性がある。改良を望みます。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成 29 年 12 月 6 日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団 淳英会	介護老人保健施設おゆみの	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	製品名：見守り支援ベッドシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29 年 11 月 28 日	10 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 居室内で利用者がベッドに臥床する際は、日々見守り支援ベッドのセンサーを利用して、利用者の起き上がりや立ち上がりに伴うベッドからの転落や転倒を防止するための見守りを行っている。使用頻度は終日で、認知症などの理由で理解・判断能力が低下した利用者の臥床時に使用している。また電動のベッド昇降機能は、利用者の立ち上がりや車いすへの移乗、排泄時の介助に際して使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 これまでは職員手製の離床センサーなども使用していたが、動作不良や感度の低下などの不具合が出ていた。本製品の使用により、精度・感度が向上し、安定した作動状況が得られることで、利用者の体動を迅速に把握できるようになり、転倒や転落の予防に効果を発揮している。職員が何度も居室を訪問しての見守りを行う回数も軽減することができた。ベッド昇降機能は、電動モーターが旧製品よりスピードアップし、介助時間の短縮や職員の身体的負担（腰痛等）の軽減に役立っている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 センサーを設定する操作部分が箱型で大きいため、ベッドと壁に挟み込んで破損する危険性がある。利用者の体重設定を行う必要があり、適切な入力となされないとセンサーの感度にも影響を及ぼすため注意が必要。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成30年2月22日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団知己会	龍岡ケアセンター	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援ベッドシステム	カリストエールKA-36123R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成30年1月31日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 施設内で、徘徊・不穏行動が多く、転倒・転落のリスクが高い入所者様に見守り支援ベッドシステムとして使用。起き上がり動作の検知・離床検知機能を使い分け、入所者様の安全を確保している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 従来は、徘徊や不穏行動などによる、転倒・転落防止の為、日中のみならず夜間の巡視も頻繁に行い、職員の負担がかなり大きかった。 見守り支援ベッドシステムの導入により、入所者様の離床前に行動を把握出来る為転倒・転落のリスクが軽減した。また、職員の肉体的、精神的な負担も減り、入所者様の安全、安心に繋がっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 入所者様の状態により、センサーの動作検知をその都度設定するのがまだ慣れないその為。使用方法研修を随時実施している。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成30年1月6日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人八千代美香会	特別養護老人ホーム美香苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りベッド支援システム	カリストエール	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29年 11月 15日	7台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ・入居者の中で体動の激しい方で転倒・転落の危険が高い方を主に利用しています。昼夜問わずベッドで過ごされる事が多い入居者の場合、睡眠状態やベッド上での状態変化を管理し、入居者の状況に応じた対応ができます。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ・重介護で認知症を患っている入居者が多く、ナースコール等で呼ぶ行為が出来ない利用者が増えている中、昼夜を問わず業務時に覚醒・起き上がり・離床の状況が分かるので、合理的な見守り方になり、時間等の介護に関わる負担の軽減とベッドからの転落・転倒の事故予防に繋がっています。例えばA様の場合には体動が激しくベッドからの転落の危険性が高かったが、端座位になってからの訪室となり、A様一人にかかる時間が短縮され、介護職員の精神的負担と身体的負担の軽減へと繋がっており、転倒・転落の事故も確実に減っております。		
【介護ロボットの不都合な点】 ・端座位機能がありますが、端座位状態では鳴らず足がついてから鳴る様になっており、端座位状態では鳴らない。逆に起き上がり機能がありますが、体動だけでもアラームが鳴るので状態に応じて対応しています。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成30年1月6日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人八千代美香会	美香苑ショートステイサービス	短期入所
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りベッド支援システム	カリストエール	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29年 11月 15日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ・利用者の中で体動の激しい方で転倒・転落の危険が高い方を主に利用しています。在宅からショート利用をしています。環境の変化によって事故へと繋がる危険性の高い利用者に使用する様にしています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ・在宅で認知症を患っている利用者でナースコール等をうまく使えない利用者の昼夜を問わず業務時に覚醒・起き上がり・離床の状況が分かるので、合理的な見守り方になり、時間等の介護に関わる負担の軽減とベッドからの転落・転倒の事故予防に繋がっています。介護ロボット導入によりショート利用中の転倒・転落の事故が格段に減っています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ・端座位機能がありますが、端座位状態では鳴らず足がついてから鳴る様になっており、端座位状態では鳴らない。逆に起き上がり機能がありますが、体動だけでもアラームが鳴るので状態に応じて対応しています。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年 3月 4日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 寿陽会	特別養護老人ホーム 北総長寿苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベットシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成30年2月23日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 利用者のベットからの転倒・転落の未然防止・夜間巡視の業務負担の軽減を目的とし、起き上がり・端座位・離床検知を利用者ごとに設定しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 接触型センサーよりも、準備等の軽減が図ることができ、加重センサーによる体動の検知が可能な為、従来型よりセンサーの感知が速く、転落の減少につながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 加重センサーの為に、体重の軽い利用者の場合に、検知できない場合が見られている為、ポジショニング等の課題が残る。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成30年3月11日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人自洲会	特別養護老人ホーム 志津ユウカリ苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム (パラマウントベッド株式会社) ベッド本体型式 KA-36221F	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年11月17日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 認知症であって歩行困難であるにもかかわらず、自力歩行しようとする入所者2名のベッドとして居室に設置し、ベッドからの立ち上がり等の情報を本システムで把握することで転倒等の事故防止のために常時使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 従来使用していた離床センサーではセンサー部分の圧力の有無だけを検知するものであったため、どの方でも同じ状態の検知であった。今回の機器の導入により検知する圧力の調整や検知後報知するまでのタイミングなど様々な設定が可能となっているため、それぞれの入所者の状態に最適な見守りタイミングで訪室できるようになった。また、長く使用することによりセンサー部分の感度や設定についてベストな設定にすることができるようになった。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 現在は使用していませんが、同シリーズの超低床タイプはキャスターのロックが不便であるため改善を希望します。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成 31年2月21日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団 淳英会	介護老人保健施設おゆみの	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	製品名：見守り支援ベッドシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年11月28日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 居室内におけるベッド臥床中の見守りおよびトイレに起きる等の離床時の動きを把握するために使用している。 使用頻度は終日センサーを稼働させ、電動ベッドについても移乗時の高さ調整等に使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 電動モーターが旧製品よりスピードが速く、オムツ交換時や移乗介助時にベッドの高さ調整を素早く行うことが出来、職員の腰痛対策につながっている。 センサーもベッドに内蔵されているため、利用者自身が外してしまうリスクが軽減され、職員の安心感がある。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 センサー設定部分が箱型で大きい為、挟み込み等による破損の危険がある。 体重設定を行う必要があり、センサー感度に影響する。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年2月26日

法人名	施設名	施設の種別
医療法人社団知己会	龍岡ケアセンター	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援ベッドシステム	カスタムエールKA-36123R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成30年1月31日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 徘徊や不穏行動が多い入居者に使用。 今までは起き上がり動作の検知・離床検知機能の使い分けに時間を要していたが、 現在ではスムーズに活用している。 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 起き上がり動作や離床検知により迅速に対応が出来、転倒や転落防止に 大変役立っている。 特に人員が手薄な夜間の業務負担が軽減され、職員の定着にも繋がっている。 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 個々の入所者様の状態により、センサーの動作検知を設定するのに 少し時間がかかる。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年2月26日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人八千代美香会	特別養護老人ホーム美香苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りベッド支援システム	カリストエール	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29年 11月 15日	7台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ・入居者の中で体動の激しい方で転倒・転落の危険が高い方を主に毎日利用しています。昼夜問わず転倒・転落事故の予防として見守りセンサーを使用する事により、安全に入居者が施設で過ごす事が出来ています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ・重介護で認知症を患っている入居者が多く、ナースコール等で呼ぶ行為が出来ない利用者が増えている中、昼夜を問わず業務時に覚醒・起き上がり・離床の状況が分かるので、合理的な見守り方になり、時間等の介護に関わる負担の軽減とベッドからの転落・転倒の事故予防に繋がっており、システムを導入する前に比べて転倒事故が数段に減っています。 また、今までの事故予防の為に体動が激しい入居者は何度も見守りの為に訪室をしていましたが、システムの導入により訪室の頻度も減り、介護者の負担軽減にも繋がっています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ・細かい設定があるのは良いが、利用者によっては端座位の姿勢になるとセンサーで察知してコールが鳴るようにセットしても、体位が交換したらコールが鳴る事があり、誤作動がある。また、気になるのはセンサーを繋ぐナースコール中継ユニットが度々故障する事があり、何度も修理をしています。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年2月26日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人八千代美香会	美香苑ショートステイサービス	短期入所
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りベッド支援システム	カリストエール	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29年 11月 15日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ・利用者の中で体動の激しい方で転倒・転落の危険が高い方を主に利用しています。在宅からショート利用をしています。環境の変化によって事故へと繋がる危険性の高い利用者に使用する様にしています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ・在宅で認知症を患っている利用者でナースコール等をうまく使えない利用者の昼夜を問わず業務時に覚醒・起き上がり・離床の状況が分かるので、合理的な見守りになり、安全に施設で過ごす事に繋がっています。また、ベッド自体にシステムが内蔵されているので、利用者に不安不満などを持たれる事もなく見守りする事が出来ています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ・端座位機能がありますが、端座位状態では鳴らず足がついてから鳴る様になっており、端座位状態では鳴らない。逆に起き上がり機能がありますが、体動だけでもアラームが鳴るので状態に応じて対応しています。また、ナースコール中継ユニットが急に壊れる事が度々あり、修理を何度も依頼する事がありました。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 3 月 3 日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 寿陽会	北総長寿苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベットシステム一式	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成30年2月23日	10台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>利用者のベットからの転倒・転落の未然防止・夜間巡視の業務負担の軽減を目的とし、起き上がり・端座位・離床検知を利用者ごとに設定しています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>マット・ベットサイドの接触型センサーよりも、準備等の軽減が図れ、軽減劣化による故障も少ない。加重センサーによる体動の検知が可能な為、従来型よりセンサーの感知が速く、転落の減少につながっている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>加重センサーの為に、体重の軽いまたは、体重の減少がみられる利用者の場合に、検知できない場合が見られる。</p>		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月3日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人 自洲会	特別養護老人ホーム 志津ユーカリ苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りベッド支援システム (パラマウントベッド株式会社) ベッド本体型式 KA-36221F	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年11月17日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>認知症であって歩行困難であるにもかかわらず、自力歩行しようとする入所者のベッドとして居室に設置し、ベッドからの立ち上がり等の情報を本システムで把握することで転倒等の事故防止をするために常時使用しています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>今回の機器の導入により早い段階での入所者のベッドからの起き上がりの確認が可能となっているため、最適な見守りタイミングで訪室できるようになった。</p> <p>これにより介護職員の負担軽減と入所者の安眠を提供できるようになった。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>製品の特長を理解して効果的な利用者への使用をしているので現時点での不都合はありません。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月27日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 淳英会	介護老人保健施設おゆみの	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	製品名：見守り支援ベッドシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成29年11月28日	10台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>居室内におけるベッド臥床中の見守りおよびトイレに起きる等の離床時の動きを把握するために使用している。</p> <p>使用頻度は終日センサーを稼働させ、電動ベッドについても移乗時の高さ調整等に使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>電動モーターが旧製品よりスピードが速く、オムツ交換時や移乗介助時にベッドの高さ調整を素早く行うことが出来、職員の腰痛対策につながっている。</p> <p>センサーもベッドに内蔵されているため、利用者自身が外してしまうリスクが軽減され、職員の安心感がある。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>センサー設定部分が箱型で大きい為、挟み込み等による破損の危険がある。</p> <p>体重設定を行う必要があり、センサー感度に影響する。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月3日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団知己会	龍岡ケアセンター	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援ベッドシステム	カリストエールKA-36123R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成30年1月31日	5台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>認知症でADL低下のある入所者様を対象として使用。 転倒・転落等の事故防止に役立っております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>以前は、入所者の転倒・転落防止等の為、職員が日中・夜間を問わず、巡回を定期的に行うため、負担が、かなり大変でしたが、見守り支援ベッドシステムにより、転倒・転落等のリスクが軽減しております。 入所者様の安全につながり、また、職員の肉体的・精神的な負担も軽減しており、</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>入所者様の状態により、センサーの動作検知を、設定することに少し慣れないケースがあり、設定方法の研修を随時実施しています。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月23日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人八千代美香会	特別養護老人ホーム美香苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りベッド支援システム	カリストエール	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29年 11月 15日	7台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>・施設で生活をする入居者の中で、主に認知症を患っておりナースコールでの対応が難しい方で足腰が弱く転倒・転落の危険性が高い方に使用させて頂いております。昼夜問わず、毎日臥床時にセンサーを使わせてもらっております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>・重介護で認知症を患っている入居者が多く、ナースコール等で呼ぶ行為が出来ない利用者が増えている中、昼夜を問わず業務時に覚醒・起き上がり・離床の状況が分かるので、合理的な見守り方になり、時間等の介護に関わる負担の軽減とベッドからの転落・転倒の事故予防に繋がっており、システムを導入する前に比べて転倒事故が数段に減っています。</p> <p>また、今までの事故予防の為に体動が激しい入居者は何度も見守りの為に訪室をしていましたが、システムの導入により訪室の頻度も減り、介護者の負担軽減にも繋がっています。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>・細かい設定があるのは良いが、利用者によっては端座位の姿勢になるとセンサーで察知してコールが鳴るようにセットしても、体位が交換したらコールが鳴る事があったり、体重が軽い事でセンサーが鳴らなかったりと誤作動がある。また、気になるのはセンサーを繋ぐナースコール中継ユニットが度々故障する事があり、何度も修理をしています。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月23日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人八千代美香会	美香苑ショートステイサービス	短期入所
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りベッド支援システム	カリストエール	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 29年 11月 15日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>・ショートステイを利用する方の中で、主に認知症を患っておりナースコールでの対応が難しい方で足腰が弱く転倒・転落の危険性が高い方に使用させて頂いております。昼夜問わず、毎日臥床時にセンサーを使わせてもらっております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>・在宅で認知症を患っている利用者でナースコール等をうまく使えない利用者の昼夜を問わず業務時に覚醒・起き上がり・離床の状況が分かるので、合理的な見守りになり、安全に施設で過ごす事に繋がっています。また、ベッド自体にシステムが内蔵されているので、利用者に不安不満などを持たれる事もなく見守りする事が出来ています。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>・端座位機能がありますが、端座位状態では鳴らず足がついてから鳴る様になっており、端座位状態では鳴らないなどの誤作動があり、状況に合わせて設定する様にしております。また、ナースコール中継ユニットが急に壊れる事が度々あり、修理を何度も依頼する事がありました。</p>		